



校長通信

No.20 令和3年1月7日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

明けまして、おめでとうございます。2021年も、どうかよろしく願いいたします。昨年、2学期の終業式で、交通事故に気をつけて、冬休みを過ごすよう子供たちに話をしましたが、昨日、事故なく、元気に登校してくる子供たちと校門で挨拶をすることができ、たいへんうれしく思いました。



3学期の始業にあたり、校長の挨拶を放送で行いました。その内容について、今号で紹介します。まず、初めに「1年の計は元旦にあり」ということわざを引用し、年頭に今年は何をするか、目標を定め決意を新たにすることの大切さを話しました。そして、その目標に向けて、こつこつとひたむきに努力をするよう促しました。

3年生にとっては、3学期は、中学校生活、最後の学期となります。自分の力が十分に発揮できるよう、健康に留意し、大いに勉学に励み、進路を切り拓いていくよう激励しました。また、あと残りわずかですが、進路がばらばらになっても、中学校の友達を大切にしてほしいということも話しました。私自身、中学校を卒業して、40年以上経ちますが、中学校時代の友人から、子育てについて相談を受けたり、反対に、様々な面で助けてもらったりしたことを話に添えました。

1、2年生には、3学期は、年度最後の集大成。新しい学年に進級するための準備期間としても、クラスメートと共に高め合いながら、勉学に、運動に、その他様々な活動に励むよう促しました。更に、新型コロナウイルス感染症が、今なお広がっている状況を受けて、マスクの着用、手洗いをしっかりするよう話しました。

以上が、始業にあたり、校長から生徒に話した内容です。2021年がスタートしましたが、残念ながら、まだ、しばらくコロナが収束する事は望めそうにありません。学校においては、感染症拡大防止に向け、教室の換気、消毒等、引き続き対策を行いますが、各ご家庭に於かれましても、感染防止対策を継続して行っていただきますよう、よろしく願いします。

“The whole year’s plans should be made on New Year’s Day.”